

SSKA

膠原

NO.20

頌春 1975

又新しい年の幕があげました。

今年も年頭にあって顧問の塩川優一先生、

西米武治様より会員の皆様にご挨拶のお言葉を
いただきました。希望をもって前向きな精神で
参りましょう。

「年頭の御挨拶」

順天堂大学

塩川 優 一

膠原病友の会も発会してから早三年、会の運営も円滑に行くようになり、活動も次第に本格的になって来たことは本当に嬉しいと思います。この会がどんなに患者さん達の心の支えになっ

ているかと思うのです。先日も三十才位の主婦の患者さんが雪の深い北国から出て来られました。聞くと医師が、あなたは膠原病という恐ろしい病気にかかっている。薬はあるがそれは段々効かなくなり、あなたは三年から五年で必ず死ぬだろう。といわれたそうです。そのために夫婦は悲しみの日々を送っていました。が溺れる者はわらもつかむという気持ちで思い切って上京し診察を受けに来られたのです。診察しますと確かにエリテマトーデスで尿の蛋白も陽性です。しかし正しくステロイド療法を行えばとてもそんな悲しいことは起り得ないと思われまます。そこで結果をお話しし、主治医に対する治療法を書いた手紙を渡し、励まして上げました。死ぬと思ったのがそうではなかったと分って、御夫婦はすっかり喜んで故郷へ帰って行かれました。診察が終ってわたくしは暫くの間、膠原病が人を悲しみのどん底に落し入れることを今更のごとく考えたのでした。それにつけてもこのような不幸な人々を励まし合いなぐさめ合う膠原病友の会の活動がさらに広がることを願う気持ちでいっぱいです。



いいわけやら ねがいやら

朝日『ホームドクター』

副編集長 西 来 武 治

よいお年をお迎えのことと存じます。

平素はご無沙汰の連続で申しわけなく思っております。小生昨年二月から、朝日新聞社発行の新しい月刊健康雑誌『ホームドクター』の副編集長に就任、毎日有楽町まで出かけております。月一度は地方へ取材に出たり、保健婦さんの研修会にひっぱり出されたりで、忙しい毎日を送っております。

昨年九月号に前会長河西喜雄さんに『膠原病のわが子とともに』という体験記を書いていただきましたが、その号が出てまもなくみどりさんが他界されたのは私にとってもショックでした。ただ、この号は、ものすごく売れたことを河西さんはじめ会員の皆さまへお伝えしたいと思います。いまとなつては、みどりさんへのせめてものはなむけでもあります。

この手記をもとに塩川優一先生と一問一答したのですが、膠原病の正しい知識を読者の皆さまへもお伝えできたと思っております。

会のこととは忘れてしまったのではありませんからーなどと、いいわけになるほど作年は顔出しできませんでした。総会にもせっかくお約束していながら失礼してしまいました。

ただ、いわせていただけるのは、会の発足当時の「みんなが弱い者同士が心を合わせていこう」というあの気持ちだけは何年たっても忘れません。会員の皆さまにも忘れてもらいたくありません。そんなことで、今年は、発足当初の会がどう発展していったか、方向は誤っていないか、今後みんなでどう進むべきか等々、初心にかえって考えていただきたいと私はひそかにねがっております。そして、私のできることはお手伝いさせていただきます。そして、自宅のダイヤルフレンドの電話相談も三万件を超え、ほとんど家内にボタンタッチですが、私は出勤前の朝八時から九時までの一時間、医事相談を受けています。何かありましたらこの時間に電話してください。

TEL (〇四六二) 三一一三〇八九

243 神奈川県海老名市国分寺台五―五―二

会 長 小野寺 哲 郎

会員の皆様 新年おめでとうございます。昭和五十年と暦は変わり、新しい気持で斗病の決意と、新年を迎えることの出来た生き抜くよろこびをかみしめておられることと存じます。

昨年は石油の値上げにはじまった、物不足とインフレ、と不況の中で田中内閣から、三木内閣にかわりました。きびしい総需要抑制型予算のあたりをうけ、我々の望む福祉、医療研究のための

療相談を行いました。大要は次の通りでした。会員が順番に自己紹介と病歴、体験を発表、それについて柏崎先生から適切なアドバイスを受けました。

主なテーマは次の通りでした。

(1) 差額ベッドの公費負担 (2) 間接的医療費の補助 (3) 県の医療施設の充実 (4) 在宅医療の援助 (5) 膠原病の研究体制と目下の研究対策の実情 (6) 遺伝性の有無 (7) 結婚出産の可否 (8) 病気の行く末。来賓者北里大学柏崎先生他 県予防課、川崎幸保健所、同多摩保健所、河西会長、森田埼玉支部長出席。

二、パンフレット(六〇頁)「神奈川の医療」を無料配布

過日支部会員よりアンケートにより「医療の欠陥」「問題点」「希望」について報告頂いたものを運営委員で整理して「神奈川の医療」に掲載しました。一部二百円です。

三、神奈川特定疾患対策協議会にて発言(十一月十一日)、県では行政側と研究者、学者等で特定疾患の対策として協議会を作り(委員十九名)いろいろと検討してくれています。第二回の会議で意見聴取するとの連絡があり、河野支部長、塩地副支部長、倉田事務局長が出席、スモン・ペーチェットの友誼団体と共に短い時間でしたが次の事を進言しました。

① 県内に治療研究の専門病院の設置 ② 差額ベッド代付添料の補助 ③ 公費負担の質の拡充 ④ 膠原病患者に身障者手帖を以上の事を考慮してもらう段階として、私達患者の生活の実態

調査を早急に行って欲しいと要望しました。

尚、当日「私達の訴え」と「膠原特集号」を十五部持参、各委員に手渡ししました。

四、県より支部に対し運営補助金交付

十万円を交付申請中ですが近日中に交付されるものと思います。

五、川崎市では、SLE、強皮症、皮膚炎、多発性筋炎の方達に月額一、五〇〇円の医療補助費が支給されます。四十九年四月より未だの方は至急保健所予防係迄 不明の点は事務局迄お問い合わせを……

其の二

東京支部結成のお知らせ

従来、本部運営委員の活動の対象が東京都に限られる場合が多くあって、東京支部結成が強く望まれておりました。昨年十一月の運営委員会で佐藤エミ子副会長を東京支部長に推薦決定し、ここに東京支部を結成することになりました。

一、東京都の会員は四十九年十月現在一三〇名です。どうか東京支部を盛上げるために会員諸兄弟には格段の御協力をお願い申し上げます。

二、東京支部の今後の活動については会報その他で御連絡します

が、支部運営委員を拡充せねばなりませんので、有志の方はどしどし本部事務局までお申出下さるようお願い致します。

当分の間、連絡先は本部事務局にいたしました。

其の三

関西支部だより

十一月十二日支部運営委員会に於いて支部長の改選が行われました。

新支部長は患者、沢田こずえさんのお父様に決定いたしました。

関西支部長

氏名 沢 田 安 男

電話 〇六一六九三一五〇四五

なお事務局は前支部長 肥田陽子さんのところへです。皆様どうぞよろしく……。又近く支部として文集を発行予定です。おたのしみに。



支部結成と県難連について

小さな助言

医療費等公費負担は国が支払って呉れている様に考えられますが、実際は国は調査研究費として助成しその一部が公費負担となっているもので実際の医療費については国は各地方自治体任せといた形が現状です。以上の様な分けて今後は各県への働きかけが必要な時期になって参りました。勿論国を動かす力は皆様の声の結集が必要な事は申すまでもありません。

それで新しく支部を作られる事を御すゝめすると同時にその運営費について簡単に御説明致します。本部納入会費より支部人数に応じて支部助成金が返還されます。

(例) 四十八年度の場合

北海道 支部 四万円 関西 支部 三万円

埼玉県 " 三万一千円 中四国 " 三万円

神奈川県 " 四万円 愛知県 " 四万円

また県難連の出来ている所に依っては、その陳情請願の効なつて県より助成金が降りそれが各加入団体に活動費として出ている所もあります。現在、長野、新潟、福島県等が県難連を作り度いと協力の呼びかけが本部の方にあります。唯いつも申します様に動けば必ずと云っていい位体調の乱れる病氣、身体第一に考え一人ではなく数人の力で結成、他の団体の方々と横の連体をと、互いに授けあって身近かな行政に訴えて頂き度いと思えます。

投稿

本部で何んとかして下さい

関西 H より

先日あるところから手紙がきましたので何だろうとみますと、漢方薬の広告、読んで見ると、友の会の人の紹介文があり、とても嫌な気分でした。治らない病氣、ステロイドでしか押えることができない病氣、しかしステロイドである程度までゆける病氣、いつまでも良くならないで、ぐずぐずしている状態の方なら、何でもやってみようと思われのはあたりまえと思います。そんな時に弱みにつけこんで、この薬を飲んだら良くなったという広告が入れば、飲んでみようかと思われる方も多いと思います。知人に紹介するならともかく、会の名簿をたよりに出されている様なこの広告を見ていると会の名簿を出すことも考えてみる必要がありそうにも思えてきます。薬の広告に始まって次は宗教その他がやってきて、そのために心をみだされる（こんなことで乱れるようではダメなのでしょうけど……）。本部の方で何かこんなことがないように考えてみて下さいませんかでしょうか。



お答え

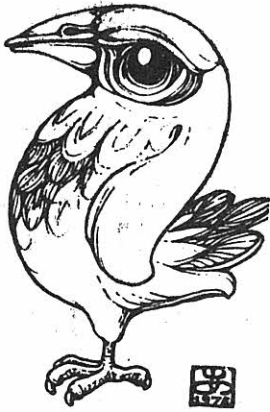
好意の強要はやめましょう

Hさんのお困りの様子、手に取るようによくわかります。三年前私の所も大変でした。十数種類に及ぶ漢方薬、同じ数ぐらいの宗教、全部受けて立ったら宗教同志の争いになり身体ははり薬、湿布薬、飲み薬と御飯をたべる暇もお湯をのむ暇もなく、いくつかのお経を上げ、いくつかの漢方薬をのんで、多分疲れ果て、今頃安楽の世界だったかも知れません。幸い余りにも数が多すぎたので助かりました。全部をうけて立つ事は不可能なので、お気持だけをそっと感謝し、他の会員の方は一切紹介せず私のところでストップしました。私が余り頑固なので三日後には死ぬと云った何かの宗教家もいました。過ぎたるは及ばざるが如し、善意も好意も相手が欲した時に手を貸す、度が過ぎればそれは押し売りになり相手にストレスを起こさせると思います。勿論人それぞれに性格は違いますが大切な事は相手の立場に立って常に物を見、考え、みだりに相手の心に踏み入らない事かと思えます。これは私の全くの私見ですが、神も仏も吾が心の中にあり信仰も宗教も自分の心を磨きささえるもので苦しい時の神だのみの如くたよるものではないと思います。会員の方々にはいろいろと宗教をお持ちの方も多いと思いますが会則にありますように特定の宗教を持ちこまないこと云う事はこうした事で会員を苦しめる事を防ぐためだったのです。三年前やはりある患者さんの家族の方が名簿をたよ

りに近くの会員の方々の家を廻われ床の中の患者さんにいろいろと御先祖様の御供養うんぬんとおっしゃられ、とうとう聞くだけでくたびれ発熱し御主人様から友の会は宗教を押し売りするところが……とお叱りを受けた事がございます。どうか皆さんこんな事で心を支え合う会が乱され脱会者が出る様な事にならないよう宗教も特別の業も己のものとし、聞かれたり、求められたりした方におおすゝめすると云う事を心がけていただき度いと思えます。良いものがあつたら一人でも多くの人に知らせてあげたい。その気持は分かりますが度がすぎるとせつかくの善意がアタになります。

年頭にあたって今年からはこの様な事が起らない様皆さんで協力いたしましょう。

Hさん、どうぞせつかく体調が良くなった時、気を大きくもつてわずらわしいものは無視し脱会等考えないでズズウしく強く生きて下さい。



佐藤 エミ子

「医療相談」

舞鶴市 会 員

質 問

新入会員の年令を見ましても、十才以下の人はおられないようですが、私の息子の様に生後約七ヶ月で発病すると云うような例はこれまでなかったのでしょうか。それからCPKの検査の事ですが、CPKとは一体何んの事か知りたいと思っています。

答

橋 本 博 史 先生

生後七ヶ月で膠原病の発病はめずらしいと思います。膠原病の中で小児期に発病し易い疾患はリウマチ熱、小児期皮膚筋炎(多発性筋炎)、若年性関節リウマチがあげられます。それら以外の膠原病では十才以下の発症は比較的稀ですがSLEでは報告者により若干こととなりますが〇〜九才の発症は三・五〜八・三%にみられ順天堂大学内科でも2%にみられています。生後間もない発病は先天性のことが多くSLEでは活動期の母親から生れた子供が生後数週間後にエリテマトーデスを発症した報告がされています。

次にCPKについてですが、CPKとはクレアチンフォスファターゼの略で骨格筋や心筋脳に多く含まれている酵素です。特に骨

格筋には多く含まれて居り、筋肉の破壊がおこりますと多量に血清中のCPKの正常値は測定方法によって異なります。異常高値を示す疾患としては進行性筋ジストロフィー症・多発性筋炎・皮膚筋炎・強皮症・甲状腺機能低下症・周期性四肢麻痺・心筋硬塞などがあげられます。膠原病のなかでは多発性筋炎・皮膚筋炎・強皮症が異常を示し易いのですが、正常値か経度の上昇を認めるにすぎない症例もあります。

診断、治療効果、筋肉の炎症程度などを知るうえで必要な検査です。

質問にお答えします

特定疾患に指定されていてもどこへどう申請したらよいのか？という問合せがございましたので厚生省より出ている難病対策ハンドブックより其の窓口一覧を抜萃いたしました。なおこれは都道府県単位のもので、更に市の窓口が個々にありますので問合せをする時は、御自分の居住地を云って直接の窓口をおたずね下さいませ。

次に他府県及び指定病院外の診療については患者が立替払いの形になって居り、手続きは居住地の保健所に指定の申請用紙がありますので、そこで用紙をもらい治療を受けている病院の先生、又は医事係の方に証明を書いていただき、それを所轄の県なり市なりの窓口に提出すると二、三ヶ月後にかえって参ります。たと

えば千葉県市川市の場合、現在東大病院に通院中との事、前述の如く市川市の保健所から用紙をもらい病院の医事係の方に証明を書いていただき市の窓口へ提出すればよいわけです。東大病院の医事係の方を調べましたら証明は書いているとの答えでした。不安な気持で転医なさる前にもう一度医事係の方と御相談なさってみて下さいませ。

短歌

埼玉 山下 文子 主婦

むなしさのおしよする日よ枕辺の
黄菊の色が目にしみとおる

語りかくる自然のいぶき聞きて居り
秋めきし陽の光りの中に

今日ひとひ一日の命かみしめ折ると云ふ
千羽鶴一羽今宵もおりぬ

ゆづかり夕光の色こき病床とこに定めかねし
ひとひ一日の心をまだみつめ居る

点滴に身をゆだねつゝ秋の虫の
すだきの如き耳鳴りを聞く

都道府県の特定疾患窓口一覧

都道府県	主管部	主管課	主管係	備考	電話
北海道	衛生部	保健予防課	特定疾病対策課		011(231)4111
青森	環境保健部	公衆衛生課	予防班		0177(22)1111
岩手	環境保健部	予防課	防疫係		0196(51)3111
宮城	衛生部	公衆衛生課	特定疾患係		0222(63)2111
秋田	環境保健部	公衆衛生課	特定疾患対策係	スモン、ベーチ ェット病、MG スモン、特定七 疾患	0188(62)1111
山形	衛生部	保健予防課	予防相談主査		0236(31)1111
福島	厚生部	公衆衛生課	健康管理係		0245(21)1111
茨城	衛生部	保健予防課	特定医療係		0292(21)8111
栃木	衛生部	保健予防課	医療対策係		0286(23)3095
群馬	衛生部	保健福祉課	特定疾患係		0272(23)1111
埼玉	衛生部	保健予防課	特定疾患対策係		0488(24)2111
千葉	衛生部	予防課	特定疾病班		0472(23)2661
東京	衛生局 医療福祉部	特殊疾病対策課			03(212)5111
神奈川	衛生部	予防課	成人保健係		045(201)1111
新潟	衛生部	公衆衛生課	特定疾患対策係		0252(23)5511
富山	厚生部	公衆衛生課	防疫係		0764(31)4111
石川	厚生部	公衆衛生課	難病対策係		0762(61)1111
福井	厚生部	公衆衛生課	防疫精神衛生係		0776(21)1111
山梨	厚生部	予防課	成人病保健係		0552(37)1111
長野	衛生部	保健予防課	特定疾患対策係		0262(32)0111
岐阜	衛生部	保健予防課	特定疾患係		0582(72)1111
静岡	衛生部	保健予防課	保健係		0542(21)2437
愛知	衛生部	保健予防課	特定疾患係		052(961)2111
三重	保健衛生部	予防課	特殊疾患係		0592(26)1111

都道府県	主管部	主管課	主管係	備考	電話
滋賀	厚生部	医務予防課	予防係		0775(24)1121
京都	衛生部	保健予防課	保健指導係	スモン、実態調査	075(451)8111
大阪	衛生部	保健予防課	特定疾患係	難病一般、スモン	06(941)0351
兵庫	衛生部	予防課	特定疾患係	実態調査、スモン、筋ジス等	078(341)7711
奈良	厚生部	保健予防課	難病防疫係		0742(22)1101
和歌山	衛生部	健康対策課	難病対策班		0734(32)4111
鳥取	衛生環境部	健康対策課	養護係		0857(22)7111
島根	環境保健部	公衆衛生課	健康情報係		0852(22)5250
岡山	衛生部	公衆衛生課	特定疾患対策係		0862(24)2111
広島	衛生部	公衆衛生課	予防係		0822(28)2111
山口	衛生部	予防課	特定疾患係		08392(2)3111
徳島	厚生部	公衆衛生課	成人病対策係		0886(22)1111
香川	環境保健部	保健衛生対策室	防疫担当		0878(31)1111
愛媛	保健部	保健予防課	特定疾患対策係		0899(41)5287
高知	厚生労働部	予防課	防疫係		0888(23)1111
福岡	衛生部	保健対策課	特定疾患係		092(78)1111
佐賀	厚生部	予防課	成人病係		0952(24)2111
長崎	保健部	予防課	特定疾患係	難病一般、スモン、ベーチェット病	0958(24)1111
熊本	衛生部	保健予防課	保健係		0963(66)1111
大分	環境保健部	予防課	防疫係		0975(36)1111
宮崎	環境保健部	保健予防課	健康増進係	難病一般、スモン	0985(24)1111
鹿児島	衛生部	予防課	予防係		0992(26)8111
沖縄	環境保健部	予防課	らい予防係		0988(32)8205

事務局 ニ ュ ー ス

(一) "御協力を感謝します"

去年も又日本チャリティ協会主催の歳末チャリティショーがありました。総会のあとで運営委員一同疲れて居りましたので、今回は過去二年間御協力いただいた福山正臣先生にすっかりおんぶしてしまいました。

先生のお力で九万一千円売上げていただきました。先生ありがとうございました。

今後とも何かとよろしく願います。

(二) "第三种郵便とSSKAについて"

第三种郵便とは「広く公共性にとみ毎月一回以上定期的に発行するもの」で郵便料金が割引になつて居ります。

SSKAとは「身体障害者団体定期刊行物協会」の略語で、いくつかの身体障害者団体が加入して作っているもので、第三种郵便物の認可をとって居ります。私達友の会も、其の団体に加入させていたゞいては居ります。したがって毎月三回一日発行とあるのは、加入団体の中から毎月三つの団体が発行すると云うことです。したがって膠原に印刷される発行日、発行人は膠原病友の会とはなりません。私達友の会は、現在各月一回発行と云う事で加入して居ります。

この刊行物に加入した経過については一度「膠原」にてお知らせ

いたしました。新しい会員の方々のため簡単に御説明いたします。

四十七年春、会員が増え全国的となった時、会費を少しでも有効的に使うため郵便料金の軽減を考え、身体障害者団体の方々にお願いし助言していただき、当時厚生省社会局民生課にいらっしゃった田中富也課長さんに友の会の実情を、お話し、御理解いただき郵政省の担当の方に連絡を取ってくださりこの刊行物協会に加入する事を認めていただきました。さまざまな制約の中でこの団体に加入できたのは身体障害者団体の方々の助言、そして田中課長さんの御尽力のためものと深く感謝いたして居ります。



新入会員紹介

よろしく

49年12月10日現在

寄附金御礼

(一) 第三回総会時ご寄附 順不同

全国医療福祉協会様 一〇、〇〇〇円
 全国医療福祉協会 伊藤仁治様 五、〇〇〇円
 福社協会 ベーチェット病患者を求む医師の会様 一〇、〇〇〇円
 豊島区 齊藤茂雄様 二、〇〇〇円
 区議会議員 東京中央大通会 金井昭様 三、〇〇〇円
 事務局長 順天堂大学 塩川優一先生 五、〇〇〇円
 順天堂大学 横張龍一先生 五、〇〇〇円
 東京大学 橋本博史先生 五、〇〇〇円
 順天堂大学 千葉医大 大友一夫先生 五、〇〇〇円
 会 員 森田かよこ様 五、〇〇〇円

以上の外カンパをして下さいました方々に厚く御礼申し上げます。

(二) その他のご寄附 (昭和四十八年十月)

大栄産業(株)様 二〇、〇〇〇円
 堀義雄様 (賛助会員) 一〇、〇〇〇円
 鳥津博和様 (賛助会員) 一〇、〇〇〇円
 河西喜雄様 (会 員) 五〇、〇〇〇円
 久保松義様 (会 員) 一〇、〇〇〇円

年頭雑感

カレンダーが新しくなり、門松が飾られ、お雑煮をたべる。そして普段疎遠の人々からも今年うんぬんと便りがある。そこはかない新年の気分がたゞよう。そこで今年こそはと、あれこれ計画をたてる。

普段のゴールデンウィークとの違いは、新年と云う派手やかさの中にひそむ、どこかしっとりとした静けさと睦まじさがにじみでる古くからの日本人の習慣のせいかもしれない。近頃はだいぶそんな風習も薄れつつあると聞くが多くの家庭にはまだまだそうした家族団楽の数日である事と思う。

そこで私も新年にあたって今年はこの事を、こんなふうにと考えてみました。膠原病と云う病気がマスコミに取り上げられ専門機関と一部の人々の間には一応知られるようになりました。でもまだまだ社会一般からの認識は薄いと云わざるをえません。たとえば去年十月六日日曜夜放映のTBSテレビ吉永小百合主演ドラマ「愛をください」とか十一月二十八日付読売新聞掲載、小山糸子さん担当の無責任な身上相談等、まったく理解浅いまゝの悲劇的な取り上げかたをしています。両者共ビジネス的な取り上げ方で、しんの心がないと思います(少なくとも私はそうとりました)。今年はどうした興味本位な悲劇のヒロインとして取り上げられないよう注意すると同時に「ドラマ」はあく迄「ドラマ」身

上相談にいたっては小山さんの「膠原病という病気は知りませんが……」という回答の一言によってもわかるように、身上相談等と云うのもこの程度のもので、むしろ小山糸子女史の良識の問題、知らない事には答えるべからずで、こうしたドラマや記事にこだわかれぬよう努める事が私達患者の横のつながりだと思いません。社会が変ればおのづと其の流れも変わります。私達の病気も難病としてPRする時期は去ったような気がします。今からは難病としての膠原病の啓蒙もさること乍ら、正しい認識と療養をと云う事をスローガンに、困難な中からも希望を見いだし、はぐくみ育てみんなで心を盛り上げてゆき、前途に明るい希望を持った会になってほしいと思います。新しく入って来る会員の方の中にはやはり病気を知らず不安と恐怖におびえている方もいるのでしよう。その人達の為にも、今年からは是非明るいムードと、暖かい心のかよった会に進んで行く事を願う者です。

どんな病気も、怪我も災難も、悲劇ではなく、さげがたい現実だと思っております。たしかな現実の上になつて広く社会への目を開こう等と考えてみました。

佐藤 エミ子



編集後記

☆ 今回のカットは愛知県百田支部長のご紹介で、岩田明様、原田克子様よりご寄稿いただきました。ありがとうございます。ありがとうございました。

会員の皆様方の中にも、こうしたイラスト・詩などのご趣味をお持ちの方が、いらっしゃる事と思います。よろしかったら事務局迄お寄せ下さいませ。お待ちいたして居ります。

陽の落ちる早さの如く、日めくりもすっかり薄くなり今年もあとわずか、この「膠原」が皆様のお手許に届く頃はすでに新しい年、病む者同志の会にとっては、つねに悲喜こもごもの新年ですが、生きる尊さを深くかみしめて、きびしい冬の間、急性増悪の無いように静かに新年を送られますことを祈って居ります。なお総会案内時の医療相談は、新年号でもあり、紙面の都合上次号より掲載いたします。あしからず。

四十九年十二月十五日 佐藤



昭和四十六年八月七日第三種郵便物認可（毎月三回一の日発行）
昭和五十年一月六日発行 S S K A 首巻通巻第一二七号



編集発行

〒 158 東京都世田谷区瀬田

電話 (700) 6083

膠原編集部

発行人

身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砦八〇二十一〇三
定価 八〇円